

## 令和5年度 教育研究推進計画

教務部

学校教育目標

気づき 考え 実行する 主体的な子供の育成  
～ つながる 挑む 考動する ～

研究主題

伝え合う良さを実感できる表現力の育成  
～児童の資質・能力の向上を目指したキャリア教育の視点における  
評価方法の開発を通して～

### 1 主題設定の理由

三次中学校区は、令和3年度より広島県教育委員会指定事業「キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業」に指定され、小中3校で「9年間で育成したい資質・能力（①コミュニケーション能力②協調性③主体性）」を共有しながら、研究を進めている。

コミュニケーション能力：自分の考えをもち、他者の思いを受け止め、言葉で伝え合うことを通して、お互いを理解し、認め合える。

協調性：目的と目標を共有し、目標達成のために、自らの役割を理解し、他者と協力できる。

主体性：自らの夢と志をもち、自ら行動し、積極的に他に貢献しようとする。

昨年度は、三次中学校区で共有している「資質・能力に係る系統表」をもとに、1年後に目指す姿を「キャリアログ」で示し、児童と共有した。また、総合的な学習の時間を中心として、「キャリアログ」を基にしたルーブリック「できた度表」を示すことで、目指す姿を児童と指導者が共有し、授業を行い、評価することができた。ルーブリック「できた度表」を活用していくことで、次回への改善策を児童と共に考えながら次の授業へとつなげ、表現力の向上にむけ取り組むことができた。今年度も3つの資質・能力が高まるよう、研究主題を「伝え合う良さを実感できる表現力の育成」（三次中学校区共通研究主題）とし、表現力の育成を視点とした研究を進めることとし、引き続き評価方法の改善を行っていく。

### 2 今年度の取り組み

#### 【取組内容】

まちガイド育成プログラムにつながる授業づくり

○「総合的な学習の時間」における単元開発

- ・ 伝え合う場の設定
- ・ 外部人材の活用

○キャリア教育のルーブリックに基づいた授業実践と評価の在り方

- ・ 評価基準の明確化と共有
- ・ 評価方法の具体化

・児童の変容の見取りの工夫

### 3 検証方法

- 質問紙調査（自校） 5月・10月・1月
- 総合質問紙調査（i-check）6月・1月
- 全国学力・学習状況調査 4月
- 「基礎・基本」定着状況調査質問紙 6月
- 個の変容が分かる作品等 7月・12月・3月

### 4 研究推進計画

月	内 容	学力調査等
4月	学校経営計画 研究推進計画立案	全国学力・学習状況調査
5月	資質・能力アンケート実施	総合質問紙調査
6月	みよし学園合同授業研究会【河内小】 総合質問紙調査分析	「基礎・基本」児童 質問紙調査
7月	みよし学園合同授業研究会【三次小】 1学期学級経営まとめ 1学期研究の検証	
8月	「全国学力・学習状況調査」分析 『広島県「基礎・基本」児童質問紙調査』分析	
9月	指導案検討	
10月	資質・能力アンケート実施	
11月	みよし学園公開研究会【三次中学校区】	
12月	2学期 研究の検証 キャリア教育カリキュラム開発事業成果発表会	
1月	研究のまとめ 資質・能力アンケート実施 総合質問紙調査分析（自校分析） 次年度年間指導計画作成	三次市学力到達度検査
2月	三次市学力到達度検査結果分析 研究のまとめと次年度に向けた推進計画作成	
3月	学級経営のまとめ 次年度研究推進計画の立案	